

平成30年度第2回畑わさび栽培技術研修会の開催

1 はじめに

遠野農林振興センターでは、平成25年度から寒冷な地域である遠野市の特色を活かした畑わさび栽培の振興に取り組んでいます。

現在までに栽培面積は2.40haとなっており、林間を活用して高収益が期待できる作物として市民から注目されつつあります。

今年度は、新規の栽培者を対象とした栽培研修会を開催しており、第2回目の研修会は、平成30年7月11日(水)に小出地区特産物生産組合のわさび圃場を会場に開催し、新規の栽培希望者9名が参加しました。

2 研修会の概要

今回の研修会は、畑わさびの収穫作業と出荷の留意点を重点に、掘り取りから出荷までの一連の作業の流れについて、林業普及指導協力員の石関啓志氏から、次に加工業者(カネ弥株式会社)の金崎社長から指導していただきました。



熱心に作業手順を見つめる参加者

掘り取りしたわさびは、わさびの茎が折れないように作業場に運搬すること、病虫害に掛かったわさびを取り除き、根茎の部分の土はきれいに取り除いた後、葉を切り落とし、株わけをして、出荷するよう指導していただきました。

管内では、一昨年に作付けした圃場で収穫が始まっていますが、当面の目標である0.1ha当たり2t以上の収穫が見込まれるところもあり、これまでの研修成果が表れてきております。



収穫時の留意事項を述べる金崎社長

3 おわりに

今回の研修終了後、参加された新規の畑わさび生産者から、「研修内容を忠実に守り、栽培技術の向上に努めていきたい」と述べていました。

今後も新規参入者の拡大を図り、更なる畑わさびの生産量、収益率アップになるよう普及指導を展開していきたいと考えています。